

透明スクリーン提案資料

透明の向こう側に、新たな体験を。

BeamScope



ビーム電子工業株式会社



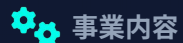
所在地

〒390-0851
長野県松本市
(本社・工場)



創業

1960年（昭和35年）
★ 創立65周年



事業内容

- ・フレネルレンズ・光学レンズ製造
- ・精密金型設計・製作
- ・厚膜回路基板（ハイブリッドIC）



Made in Japan

日本の精密工業を支える技術拠点

65 YEARS OF INNOVATION

ビーム電子工業は、半世紀以上にわたり光学レンズや精密部品の製造を手掛けてきました。「光学設計」「精密金型」「量産」までの一貫体制を強みに、常に時代のニーズに合わせた製品開発を行っています。



光学設計

長年のノウハウによる
最適設計



金型製作

超精密加工技術による
金型製造



製品量産

高品質な成形と
安定供給

★ NEWS

透明スクリーン「BeamScope」販売開始

2025年4月

👤 担当：小松 元大

✉ m.komatsu@beam-matsumoto.co.jp

透明ディスプレイ市場の急成長

出典: 各種市場調査レポートより予測

● 市場規模予測

市場規模推移 (Global)

2024

3.8 Billion USD



2025 (Forecast)

5.55 Billion USD



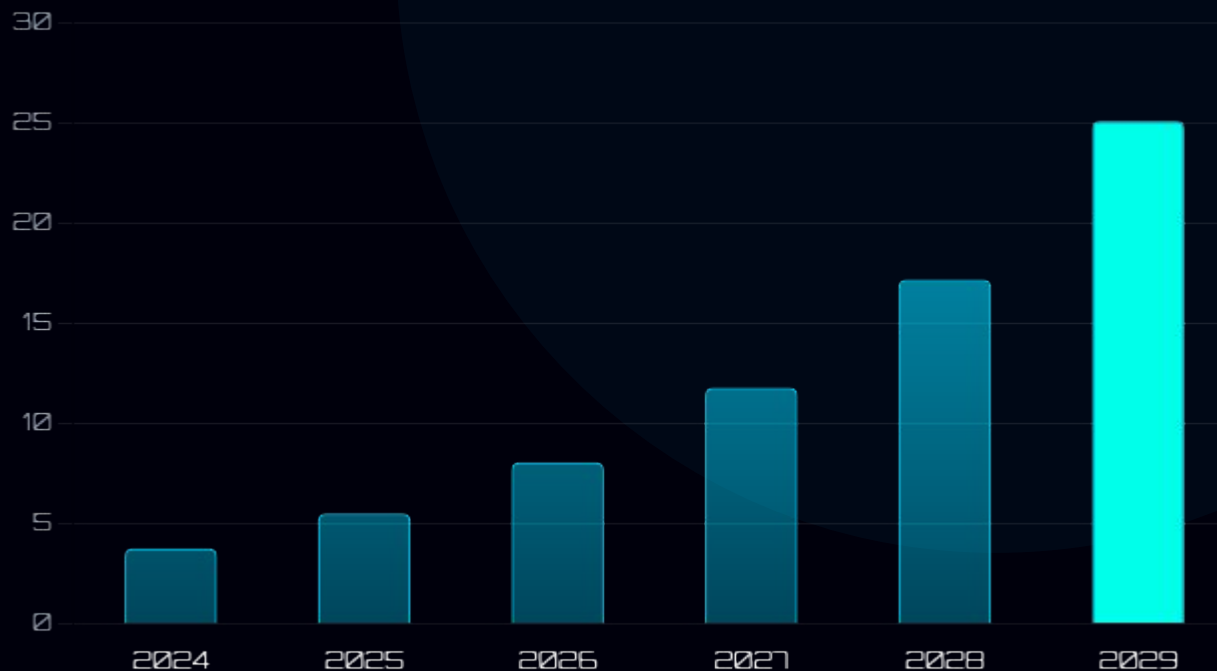
+46%
Growth

年平均成長率 (CAGR 2024-2029)

46.1%

爆発的な市場拡大が予測される

2029年までの長期市場予測



アジア太平洋がリード

スマート建築・都市開発が牽引



リテール革命

ARサイネージ・ショーウィンドウ



体験の高度化

没入型イベント需要の急増

BeamScope 3つの特長



高透明性と独自光学 鮮明な映像美

独自開発のレンズ設計により、背景を美しく透かしながら、映像を鮮明に結像させます。空間の奥行きを損なわず、浮遊感のある演出が可能です。

透過率 / HAZE

75% / 8%



明るい環境でも 高コントラスト

明るい照明下でも映像がくっきり見えます。他社透明スクリーンや白い板と比較しても圧倒的な輝度を誇り、視認性を確保します。

前面輝度 (3600lm)

ゲイン: 1.0 (正面)



超短焦点 プロジェクター最適化

壁際や狭い通路でも大画面を実現できる超短焦点プロジェクターに最適化。省スペースで設置でき、人の影が映り込む心配もありません。

推奨プロジェクター

超短焦点 3600lm~

共通仕様

対応プロジェクター
超短焦点 3600lm 以上推奨

スクリーン素材
特殊アクリル樹脂
高透明・高反射コーティング

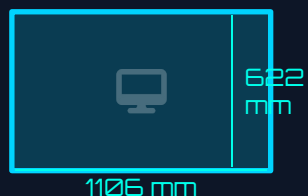
視野角
左右 15° / 上下 15°
正面からの視聴に最適化

設置方法
スタンド / ガラス貼り(準備中)
環境に合わせて選択可能

比率 (Aspect Ratio)
16 : 9

サイズラインナップ

50inch



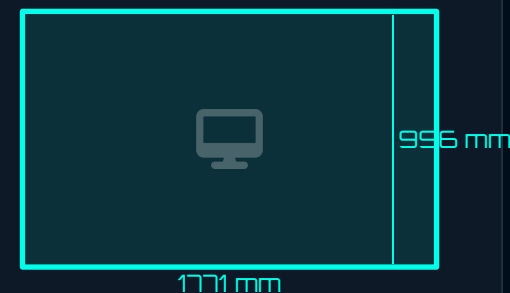
幅 (Width)
1106mm

高さ (Height)
622mm

重量 (Weight)
6.6kg

80inch

MAX SIZE



幅 (Width)
1771mm

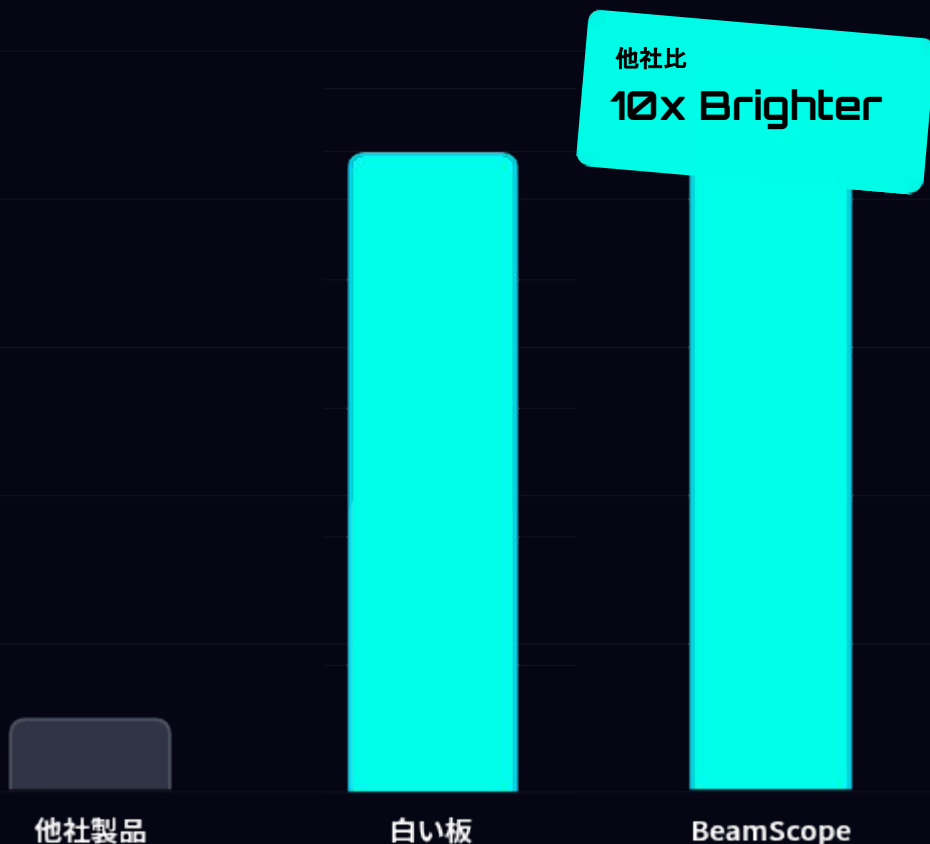
高さ (Height)
996mm

重量 (Weight)
13kg

設置推奨
展示・イベント

圧倒的な輝度と視認性

正面輝度比較 (イメージ)



※当社調べ。同等の透過率を持つ他社製品との比較結果



BeamScope (本製品)

Excellent

外光の影響を最小限に抑え、映像が鮮明に残る。
明るい室内や展示会場でも高い視認性を確保。



他社透明スクリーン

Poor

映像が暗く、外光下ではほとんど見えない。
透過率は高いが、投影性能が不足。



白い板 (White Board)

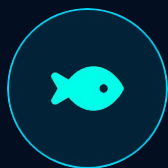
Washout

外光の影響を強く受け、映像が白飛びする。
背景は全く見えず、透明演出は不可。

→ 結論：BeamScopeは、外光の強い環境（ショッピングモール、オフィス等）でも、映像の鮮明さと透明性を両立できる唯一の選択肢です。

活用シーン：展示・ミュージアム

「透明」であるからこそ、展示物の魅力を損なわず、情報を付加できます。
水族館、博物館、展示会など、リアルな対象物がある空間で最大の効果を発揮します。



01

水族館・大型水槽

水槽の前面ガラスにスクリーンを設置し、泳ぐ魚を重ねて魚種名や特徴を表示。実際の魚を見ながら情報を得られるため、視線移動の少ない快適な鑑賞体験を提供します。

- ✓ AIカメラ連携での追尾解説
- ✓ 生態情報のリアルタイム表示
- ✓ 視界を遮らない高い透明度

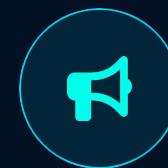


02

博物館・歴史展示

恐竜の骨格標本や歴史的遺産の前に設置し、当時の肉付きや色彩を映像で復元。実物展示と映像を重ねるAR（拡張現実）的な演出を、ゴーグルなしで実現します。

- ✓ 骨格標本への肉付け映像演出
- ✓ 多言語解説の切り替え表示
- ✓ 歴史的背景の没入型紹介



03

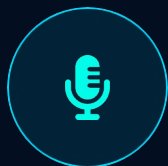
展示会・ブース演出

製品の実物を透かして見せながら、手前のスクリーンで機能説明やイメージ映像を展開。通りがかる来場者の目を引く強力なアイキャッチとして機能します。

- ✓ 製品実物 × 映像のハイブリッドPR
- ✓ ブース前面での集客効果
- ✓ 限られたスペースでの情報発信

活用シーン：イベント・商業施設

空間演出やエンターテインメント分野での活用。リアルとバーチャルを融合させた体験を提供し、集客効果と話題性を高める新しいコミュニケーションツールとして機能します。



01

ステージ・VTuber

ステージ前面に透明スクリーンを設置し、アーティストやVTuberが「そこにいる」かのようなリアルな存在感を演出。複数枚を連結して大型スクリーン化も可能です。

- ✓ 没入感のあるホログラフィック演出
- ✓ 複数枚連結で大型化に対応
- ✓ リアルタイムなインタラクション

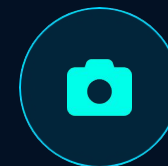


02

商業施設・ショールーム

店舗のガラス面やショールームの空間に溶け込み、商品を隠さずに映像情報を付加。空間デザインを損なわない、圧迫感のないサイネージとして機能します。

- ✓ 空間に自然に馴染むデザイン
- ✓ 商品と情報の同時訴求
- ✓ ショーウィンドウのサイネージ化



03

スポーツ・撮影コーナー

憧れの選手やキャラクターと一緒に写真が撮れる「撮影体験」を提供。スクリーンの裏側に人が立つことで、リアルなツーショット撮影が可能になります。

- ✓ キャラクターとのツーショット撮影
- ✓ 特別なファンサービス体験
- ✓ SNS拡散効果の高いコンテンツ

2025年 導入実績



技術・仕様について

Q. 最大サイズはどのくらいですか？

A. 現行のラインナップでは、最大サイズは **80インチ** です。スクリーン自体のサイズをこれより大型化することは、製造上の理由から現状困難です。

Q. 視野角が狭いのが気になります。

A. スクリーンの輝度が維持される推奨視野角は **上下左右 15°** です。ただし、スクリーンからの視聴距離が遠くなるほど、実質的な視聴可能範囲は広がります。

Q. 裏側から見るとどのように見えますか？

A. うっすらと映像は見えますが、輝度は大きく低下します。これは光の透過と反射の特性によるものです。現在、リア投影対応タイプも開発中です。

Q. プロジェクターは専用のものが必要ですか？

A. **超短焦点プロジェクター**（3600lm以上）の使用を推奨しています。

設置・運用・コンテンツについて

Q. 複数枚を並べて使用することはできますか？

A. 可能です。ただし、スクリーンの特性上、**スクリーン1枚につき1台** のプロジェクターが必要です。大型ステージなどで連結使用の実績がございます。

Q. 映像コンテンツの制作は依頼できますか？

A. 協力映像制作会社様をご紹介可能です。

Q. どのような映像コンテンツが適していますか？

A. プロジェクターの「黒＝光らない」特性を活かし、**背景を黒や暗い色** にした映像を使用すると、黒い部分が透けて被写体が浮いているような効果的な演出が可能です。

SHOWROOM INFO



RESERVATION ONLY

LAB



常設展示ショールーム

東京・品川

東京都品川区東品川1丁目3-12 2階
(パナソニック映像株式会社様 施設内LAB)



開館時間

平日 10:00 ~ 17:00

※完全予約制となっております



体験内容

透明スクリーン「BeamScope」80インチ実機

実際の透過性、映像の鮮明さ、視野角などをご確認いただけます。

CONTACT US

導入のご相談・デモ予約はこちら



ビーム電子工業株式会社 担当

小松 元大 Komatsu Motoharu



0263-48-1650



m.komatsu@beam-matsumoto.co.jp



「透明スクリーンの件で」とお伝えください

Thank You

お問い合わせお待ちしております

導入のご相談、お見積り、デモ機の体験など
デモ体験のご予約・お打ち合わせのご希望日をご連絡ください

☎ ビーム電子工業株式会社

BeamScope

透明型スクリーン

担当 **小松 元大**

☎ 0263-48-1650

✉ m.komatsu@beam-matsumoto.co.jp